

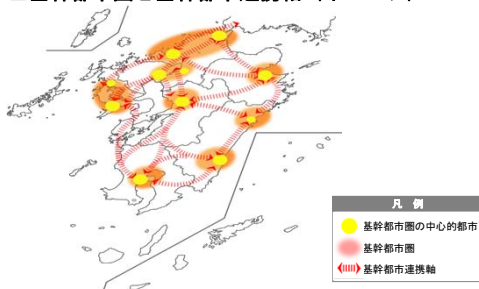
九州圏広域地方計画とは（平成21年8月策定）

【三層からなる自立的な圏域】

九州自立広域圏

・九州圏が個性ある国際交流・連携、協力を行うための一定のまとまりある圏域として九州全体で一体的な発展を図るための自立圏域

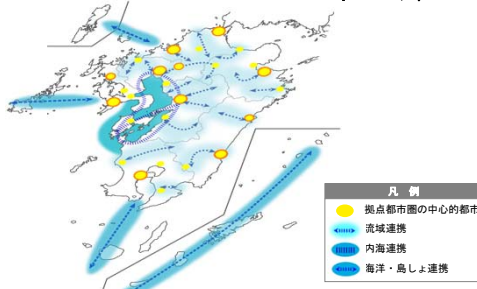
■基幹都市圏と基幹都市連携軸（イメージ）



都市自然交流圏

・適度に分散した基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流・連携による豊かな生活環境を実現するための自立圏域

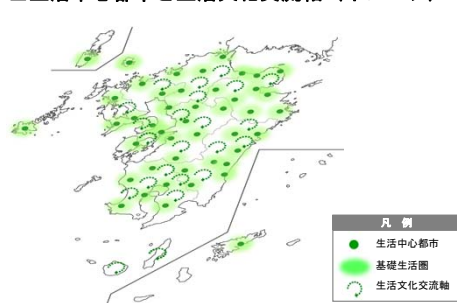
■拠点都市圏と都市自然交流軸（イメージ）



基礎生活圏

・人口減少下であっても生活関連サービスを維持し、地域社会の機能や活力を確保するための自立圏域

■生活中心都市と生活文化交流軸（イメージ）



7つの戦略目標

- I 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成
- II 基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展
- III 災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成
- IV 拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成
- V 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成
- VI 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成
- VII 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

九州圏広域地方計画協議会

経済界：一般社団法人九州経済連合会、九州商工会議所連合会

地方公共団体：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県、沖縄県、北九州市、福岡市、熊本市、九州市長会、九州地区町村会長会

地方支分部局：九州管区警察局、九州総合通信局、九州財務局、九州厚生局、九州農政局、九州森林管理局、九州経済産業局、九州地方整備局、九州運輸局、大阪航空局、第七管区海上保安本部、第十管区海上保安本部、九州地方環境事務所

今後の進め方

国土のグランドデザイン2050も踏まえて、直ちに**国土形成計画（全国計画及び広域地方計画）の見直し**に着手

Vol.1 <H26.9.30>

【この資料のお問い合わせ】

福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7 国土交通省 九州圏広域地方計画推進室 TEL:092-476-3552（直通）

九州圏広域地方計画 中間評価

～ 東アジアとともに発展し、活力と魅力あふれる
国際フロンティア九州を目指して ～

九州新幹線の開通により 観光交流が拡大



外貨コンテナ取扱量 過去最高



九州北部豪雨などからの 復旧・復興



観光列車の運行開始 九州ブランドの始動



クルーズ船の寄港回数は 全国の4割

外国クルーズ船の入港風景



高速道路ネットワークの 着実な整備

東九州自動車道 北浦IC付近
(提供)九州地方整備局



九州圏広域地方計画 中間評価 ～東アジアとともに発展し、活力と魅力あふれる国際フロンティア九州を目指して～

中間評価の手法

①九州圏をとりまく
現状の把握

②各戦略目標の進捗状況の把握

指 標

主 な 取 組

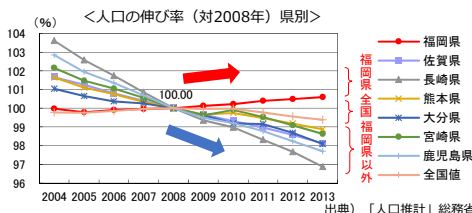
ア ン ケ ー ト

中 間 評 価

九州圏をとりまく現状の把握

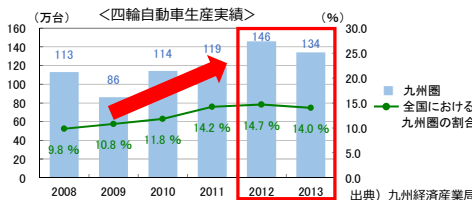
人口動向

圏域人口は減少傾向。域内人口は福岡に集中

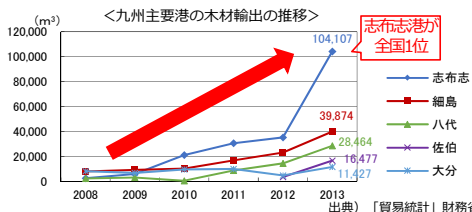


産業経済及び通商

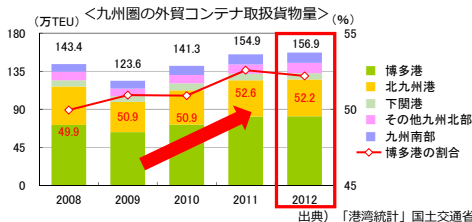
146万台の生産台数を記録(過去最高)



木材輸出が急激に増加（全国の7割強）

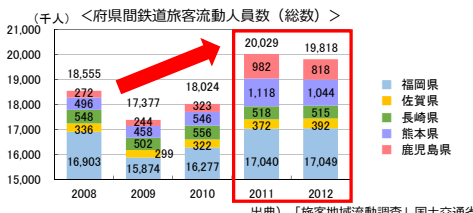


外貿コンテナ取扱貨物量が過去最高

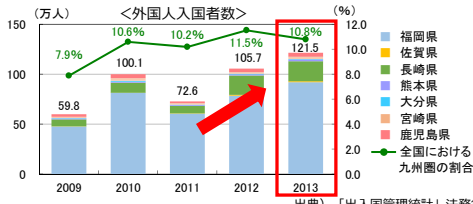


観光交流

九州新幹線の全線開業により、旅客数が増加



121万人の外国人入国者数を記録(過去最高)



自然災害対策

自然災害からの復興復旧
南海トラフ巨大地震等の
大規模災害に対する備えの進展



戦略目標の中間評価

（１）戦略目標の進捗状況

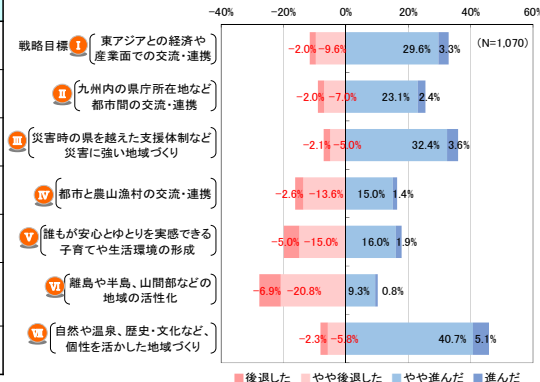
【戦略目標の進捗状況（九州圏広域地方計画協議会）】

戦略目標	中間評価
Ⅰ 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成	着実に進捗している
Ⅱ 基幹都市圏を核とした多極型国土構造と九州圏の一体的な発展	着実に進捗している
Ⅲ 災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成	着実に進捗している
Ⅳ 拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成	進捗している状況とまでは評価できない
Ⅴ 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成	進捗している状況とまでは評価できない
Ⅵ 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成	進捗している状況とまでは評価できない
Ⅶ 九州圏の各地域の個性を生かした先導的な地域づくり	着実に進捗している

現行計画全体では、緩やかな進捗がみられると評価

【九州圏広域地方計画の進捗等に関するインターネットアンケート結果(H26.5)】

(5年間の進捗)



（２）5年間に行われた主な取組例

Ⅰ

◆東南アジア各国とのMOU※締結



◆九州一体となった農水産物フェア開催



Ⅱ

◆九州新幹線開通に合わせた拠点機能の強化



◆高速交通体系の着実な整備



Ⅲ

◆九州北部豪雨からの復旧



◆再生可能エネルギーの導入



Ⅳ

◆拠点都市における中心市街地活性化



◆酪農体験の実施などによる都市自然交流圏の形成



Ⅴ

◆高齢者の社会参加の支援



Ⅵ

◆離島架橋の整備



Ⅶ

◆九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録に向けた取組

